

バラスト水活用検討会について

1. 趣旨・目的

日本は、過去より公共用水域の水質汚濁の問題に対応するため、厳しい計画放流水質を設定し、高度な下水処理を導入してきました。これにより得られた下水処理水は公共用水域へ放流されるとともに、一部が都市用水として再利用されています。

一方、豪州では慢性的な水不足に悩んでおり、海水淡水化により水資源を確保するとともに、一部の都市では水の循環利用の取り組みが進められています。

このため、本検討会では、西豪州の鉱業地域等を対象として、資源輸入国である日本から良質の下水処理水を、道路散水や粉じん対策などの非飲用としての用途に限定し、船舶のバラスト水として輸送することにより、安価に供給することの可能性を検討することとしています。

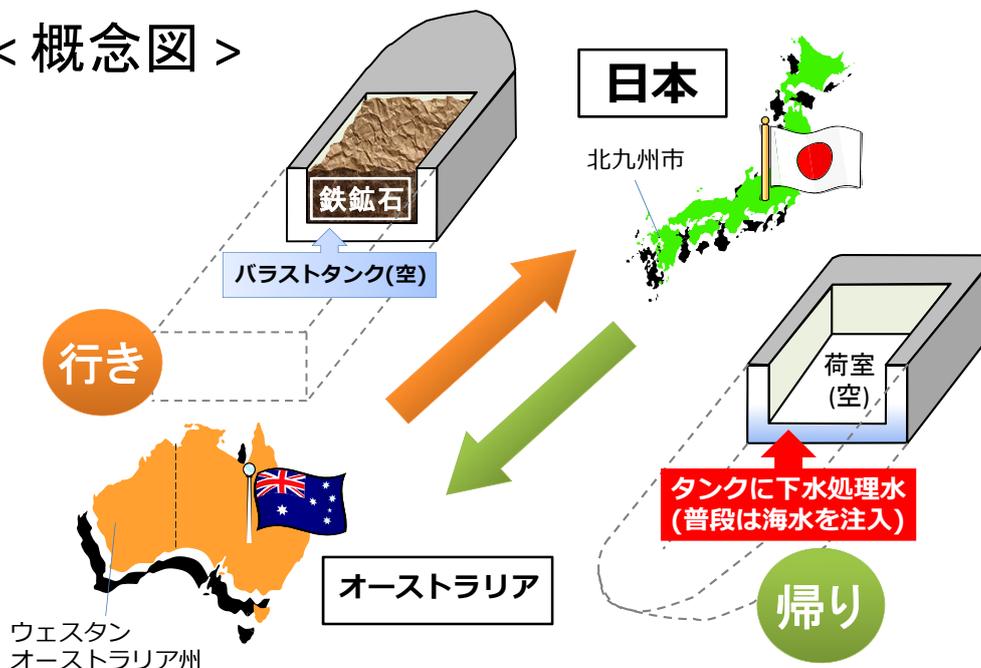
2. 経緯

- 平成 21 年度 基本的な枠組み・課題の整理
- 平成 22 年度(予定) 具体の航路を対象とした構想の策定、処理水輸送実験の実施

3. 平成 22 年度の実施予定内容

北九州市と西豪州を結ぶ航路を対象として、民間事業者を含めて構想の策定を行うとともに、下水処理水の水質変化等を確認するための水輸送実験を含めたプレ FS を行い、来年度実施予定の詳細な FS につなげることをとしています。

< 概念図 >



4. バラスト水活用検討会の構成

別紙参照

バラスト水活用検討会 名簿

検討メンバー(五十音順)(◎:座長)

上田 直樹 三菱重工業(株) 船舶・海洋技術部 開発計画課 開発第一チーム統括
上原 淳 JX日鉱日石エネルギー(株) 研究開発企画部 R&D企画グループマネージャー
宇都 正哲 野村総合研究所社会システムコンサルティング部社会システムコンサルティング室長
太田 道孝 国際石油開発帝石(株) 経営企画本部 経営企画ユニット
小越 真佐司 国土交通省国土技術政策総合研究所下水道研究部下水処理研究室長
大原 邦夫 北九州市建設局理事
神尾 正彦 野村證券(株) IB ビジネス開発部次長
小柴 和博 (株)三菱東京 UFJ 銀行 CIB 推進部上席調査役
◎佐々木 一英 国土交通省都市・地域整備局下水道部流域管理官
廣岡 成則 新日本製鐵(株) プロジェクト開発部 部長
藤井 義久 三菱商事(株)水事業ユニット プロジェクトチームシニアアドバイザー
藤木 修 下水道グローバルセンター (G C U S) 座長
福田 安芸 (株)MTI 技術戦略グループ上級研究員
望月 明 (株)日立プラントテクノロジー 研究開発本部 技術・事業開発統括部 事業企画グループ部長

オブザーバー

井上 智夫 特定非営利活動法人 日本水フォーラム ディレクター
グレイ・ピコック 西オーストラリア州在東京事務所代表
松川 一貴 川崎市建設局下水道部経営企画担当
三橋 敏宏 経済産業省製造産業局 水ビジネス・国際インフラシステム推進室長

他